

## 身体障害作業療法（講義）

【科目名】 身体障害作業療法（講義）		【担当教員】 永松一真						
【授業区分】 専門分野(作業療法評価学)	【授業コード】 4-22-0840-0-1	(メールアドレス) nagamatsu@nur05.onmicrosoft.com						
【開講時期】 2 年次 前期	【選択必修】 必修	(オフィスアワー) 火曜～金曜 (8:30 ～ 18:00)						
【単位数】 1 単位	【コマ数】 15 コマ							
<b>【注意事項】</b> (受講者に関わる情報・履修条件) ・講義のほかに演習を行うこともあるので動きやすい支度（ジャージなど）で臨むこと。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・各単元、解剖学や運動学を再学習・確認をしながら授業に臨むこと。 ・実技の練習時間をつくり、自ら積極的に学ぶこと。								
<b>【講義概要】</b> (目的) ・身体障害領域の各検査・測定および観察の目的及び実施方法とその結果についての判断を学ぶことを目的とする。 (方法) 各検査方法の背景となる考え方・理論も含め、検査方法について講義を中心に行う。								
<b>【一般教育目標(GIO)】</b> ・身体障害領域の評価の流れについて理解することができる。 ・各検査の目的、手法について理解することができる。 <b>【行動目標(SBO)】</b> ・観察を含めた各検査の実施方法を正確に理解する。								
<b>【教科書・リザーブドブック】</b> 岩崎テル子 他編「標準作業療法学 作業療法評価学 第2版」医学書院 2013年 5,800円（税別） 田崎義明「ベッドサイドの神経の診かた 第17版」南山堂 2014年 7,200円（税別） 千野直一 他編「脳卒中中の機能評価 SIAS と FIM」金原出版 2012年 2,600円（税別）								
<b>【参考書】</b> 作業療法マニュアルシリーズ「身体障害の評価（2冊組）」作業療法士協会								
<b>【評価に関わる情報】</b> (評価の基準・方法) ・成績評価基準は、大学学則規程の GPA 制度に従う。 ・成績評価は、期末試験および小テストなど総合的に評価する。								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	30	0	0	0	0	10	100点

平成 26～28 年度入学者用

評価	取り込む力・知識	30	15						45
指標	思考・推論・創造の力	30	15						45
	コラボレーションとリーダーシップ							5	5
	発表力								
	学修に取り組む姿勢							5	5

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1 4/8 (金)	・作業療法評価の流れ(情報収集から検査測定、問題点の抽出、目標設定、治療プログラムの立案)を一通り理解できる。面接法一部含む。	講義	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分
2 5/6	・面接・観察法、生理機能検査(脈拍、血圧)面接、バイタルサインの測定を行うための基礎知識を理解することができる。	講義	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分
3 5/6	・面接・観察法、生理機能検査(脈拍、血圧)面接、バイタルサインの測定を行うための基礎知識を理解することができる。	演習	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分
4 5/20	・形態測定(四肢長、周径)形態測定を行うための基礎知識を理解することができる。	講義	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分
5 5/20	・形態測定(四肢長、周径)形態測定を行うための基礎知識を理解することができる。	演習	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分
6 6/10	・感覚および知覚検査 感覚・知覚検査を行うための基礎知識を理解することができる。	講義	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分
7 6/10	・感覚および知覚検査 感覚・知覚検査を行うための基礎知識を理解することができる。	演習	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分
8 6/24	・反射検査 反射検査を行うための基礎知識を理解することができる。	講義	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分
9 6/24	・反射検査 反射検査を行うための基礎知識を理解することができる。	演習	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分
10 7/8	・姿勢反射検査 姿勢バランス検査を行うための基礎知識を理解することができる。	講義	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分
11 7/8	・姿勢反射検査 姿勢バランス検査を行うための基礎知識を理解することができる。	演習	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分
12 7/22	・協調性検査および脳神経検査 協調性検査・脳神経検査を行うための基礎知識を理解することができる。	講義	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分
13 7/22	・協調性検査および脳神経検査 協調性検査・脳神経検査を行うための基礎知識を理解することができる。	演習	予習:次回単元の教科書を読んでおく。	30分

平成 26～28 年度入学者用

1 4 7/29	・片麻痺機能検査 片麻痺機能検査を行うための基礎知識を理解することができる。	講義	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30 分
1 5 7/29	・片麻痺機能検査 片麻痺機能検査を行うための基礎知識を理解することができる。	演習	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30 分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。